

講義科目 : 社会科学演習	単位数 : 4
担当 : 大畑 智史	学習形態 : 必修科目
* 第2学年で履修	

講義の内容・方法および到達目標

地方創生は、現在の日本における重要な論点の一つです。本演習では、その論点に関する議論などの取組を通じ、履修生が、日本の地方が抱える問題の解決策を考えられるようになることを目標とします。

授業計画

1	オリエンテーション：地方創生とは	16	文献講読、卒論経過報告、地方分権
2	文献講読、卒論テーマ、国家財政	17	文献講読、卒論経過報告、公民連携
3	文献講読、卒論テーマ、地方財政	18	文献講読、卒論経過報告、公共財
4	文献講読、卒論経過報告、人口減少	19	文献講読、卒論経過報告、予算
5	文献講読、卒論経過報告、少子高齢化	20	文献講読、卒論経過報告、社会保障
6	文献講読、卒論経過報告、人口移動	21	文献講読、卒論経過報告、ふるさと納税
7	文献講読、卒論経過報告、移民	22	文献講読、卒論経過報告、租税原則
8	文献講読、卒論経過報告、ICT活用	23	文献講読、卒論経過報告、国税
9	文献講読、卒論経過報告、産業集積	24	文献講読、卒論経過報告、地方税
10	文献講読、卒論経過報告、まちづくり	25	文献講読、卒論経過報告、国債
11	文献講読、卒論経過報告、地域資源	26	文献講読、卒論経過報告、地方債
12	文献講読、卒論経過報告、観光	27	文献講読、卒論経過報告、特定補助金
13	文献講読、卒論経過報告、農業	28	文献講読、卒論経過報告、一般補助金
14	文献講読、卒論経過報告、六次産業化	29	文献講読、卒論経過報告、財政健全化
15	卒論経過報告会：地方創生策は何か	30	卒論最終報告会：地方創生策の効果

* 地方創生の取組みの現場に訪問（自由参加）することを考えています。この詳細は、受講生と相談の上、決めます。

2016年度：志摩市方面（9月）

2017年度：伊賀市方面（9月）

2018年度：亀山市方面（6月）、四日市市方面（12月）

2019年度：伊勢市方面（6月）、岐阜市方面（12月）

2020年度：前期代替措置実施（新型コロナの影響）、尾鷲市方面（12月）

教材・テキスト・参考文献等

[文献講読の著書]

みずほ総合研究所 編『キーワードで読み解く地方創生』岩波書店、2018年

その他、本演習関連の文献については、適宜紹介します。

成績評価方法

出席（演習時の発言）：20%

卒業論文関係：80%

その他

- ・できるだけ、財政学関連の講義を受講して下さい。
- ・各種行事への積極的な参加を考えています。